



2023年2月13日

各位

会社名 ワシントンホテル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 内田 和男  
(コード番号:4691 東証スタンダード市場、名証メイン市場)  
問合せ先 取締役経理財務部部长 森 良一  
(TEL. 052-745-9036)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年11月14日に公表した2023年3月期の通期業績予想につきまして、下記のとおり修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 個別業績予想の修正について

(1) 2023年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,166	百万円 1,796	百万円 1,524	百万円 1,667	円 銭 138.31
今回修正予想 (B)	17,324	2,651	2,419	2,563	212.62
増減額 (B-A)	1,157	855	894	896	-
増減率 (%)	7.2	47.6	58.7	53.7	-
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	8,547	△3,243	△3,108	△3,261	△270.50

(2) 修正の理由

(売上面)

今期第4四半期会計期間は、全国旅行支援が当初12月下旬までの予定だったものが1月10日以降も継続されたことなどによる売上の上振れに加え、コロナ療養施設としての一棟貸し期間が当初想定より延長となったことにより、業績が底上げされることとなります(一棟貸しの想定は11月14日時点では、10ホテルは12月末、2ホテルは3月末としておりましたが、現状12ホテルすべてが3月末までとなる見込み)。

(利益面)

コロナ後を見据えて、営業を継続しながら実施しておりました大規模リニューアルは、名古屋栄ワシントンホテルプラザは2023年2月5日に完了、R&Bホテル上野広小路は3月初旬に完了予

定であり、これらの費用は今期下期に計上する予定となっております。また、エネルギー価格高騰による光熱費や、リネン洗濯代、人手不足に伴う人件費や客室清掃費等の増加による利益下押し要因もありますが、全体としては宿泊需要が上向いていること及び一棟貸し延長による収入増加影響が大きく、当初予想から上方修正するものです。

なお、11月14日に公表した配当予想から変更はございません。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上